

CIPA

中国インテリアプランナー協会

Chugoku Interior Planner's Association

<http://cipa21.com>

2013 vol.18

通信

communication

〒731-5135

広島市佐伯区海老園 1-13-7

(有)エルイーオー設計室 内

tel : 082-923-2132

fax : 082-922-0018

e-mail : cipa@cipa21.com



伊勢神宮、内宮手水舎

名誉会長のつぶやき

『奥の細道』

広島での花見を楽しんだあと、京都から秋田までの花を追って北上するという、欲張りな計画を立ててみました。延べ11日間、約3,500kmの旅。17年前に買ったホンダCRVと43年来の女友達とiPhoneにダウンロードしたナビとコンビニのATMが強い味方となりました。平安神宮の左近の桜はすでに葉桜。三千院のシダレ桜は池の上の花筏。三春の滝桜は見事なほどの散り始め。会津若松、鶴ヶ城の桜は満開で宴会。毛越寺、中尊寺の桜はまだ早く、しかもここではモミジと比べ、桜は主役になれない存在かと見ました。柳田國男「遠野物語」の猿ヶ石川の桜並木はつばみ。昼に食べたラーメンはチャーシューと梶水（かんすい）の味がする素朴なものでした。ドンブリの端に飾ってくれた2枚の味付け海苔。これをお洒落と感じるべきか、サービスと受取るのか、そして食べる所作があったのだろうか？ 迷いながらも食べ終わり、冷水を飲み一服。お姉さんの話では、遠野でも震災の被害は大きく、特に揺れる時間が恐ろしく長いものだったそうです。写真家、森山大道の撮った駅前ネオン街も壊され、今は怪しい空き家街となっていました。念願の角館（かくのだて）。天然記念物となっている162本のエドヒガン桜はすべて硬いつばみでした。見納めは幸か不幸か先送りとなりました。

（日高卓三）

広島不動産院改修工事

広島市牛田新町にある国宝不動産院金堂の保存修理見学にお誘い頂き、出かけてきました。見学時は二年半の保存修理期間の丁度中間ぐらいの進行状況でしょうか。この建物（金堂）の概要は桁行15・6m、梁間16・8m、棟高14・4mの禅宗建築で、この度の保存修理は屋根のこけら葺き、内部の梁組物、天井回りの彩色剥落止め、須弥壇塗装の塗り直し、壁画の補修、建具等の補修、土間叩き（内外）の全面やり変え等の工事だそうです。

1339年に安芸安国寺に指定、1443年鐘楼堂が建立、1521～1527年頃伽藍のほとんどを焼失、1573年安国寺（不動院）伽藍復興に着手、1601年（慶長6年）臨済宗（禅宗）から真言宗に改め、不動明王を本尊とし本坊を不動院と称されました。1671～1693年（寛文11年・元禄6年）に金堂の裳階屋根を瓦葺きに改修、1877年（明治9年）には二軒を一軒に切り詰め入母屋を寄棟に改変して金堂の屋根を瓦葺きに修理、1915～1923年（大正4年～12年）国の補助により寄棟造瓦葺きから入母屋こけら葺に改める解体修理が行われました。原爆投下時には山麓という立地条件が幸いし、災禍を免れたのです。1956年（昭和33年）金堂が国宝建造物に指定され、1988年（昭和63年）金堂屋根葺き替え工事が行われ、そして、この度のこけら葺全面葺き直しに至ります。

金堂全体が完璧な足場で覆われ、こけら葺の工事模様が目前に見ることが出来感動モノでした。

こけら葺の材はサワラを使用し大きな丸太から輪切り、木取り（この時点で白太部分は取り除く）、板割包丁と木槌で木目にそって薄く割られ（24mm～12mm～6mm～3mm）3mmの厚さに整えられ、通気の良い状態に積み重ねて自然乾燥させるそうです。

ひろしま

高盛絵

七代目

金城一国斎

一国斎高盛絵（いつこくさいたかもりえ）

金城一国斎は、尾張藩土中村市郎左衛門（右衛門の説もあり）を祖とし、二代一国斎が江戸時代末期に江波（現：広島市中区）に移住、後の三代一国斎とともに研究を重ねた末、現在の漆芸（しつげい）技法高盛絵を考案しました。

漆と砥の粉を練り合わせた高盛漆を筆で描き上げ、必要な肉付けをした後に、さまざまな色漆を塗り分けて文様を描く技法です。絵画的な柔らかなさと彫刻的な重厚さが同時に表現できる点に特徴があります。漆器、木地製品を素材として、文様の多くは草花・昆虫を配置し、上絵・毛彫りにて細部に表情を加え、総体に摺漆（すりうるし）して古色をつけて仕上げる漆芸です。（広島県指定伝統工芸品）

■ 準防火地域にありながら、純和風の佇まいにこだわられた趣のあるご自宅にて、七代金城一国斎氏にインタビューさせて頂きました。

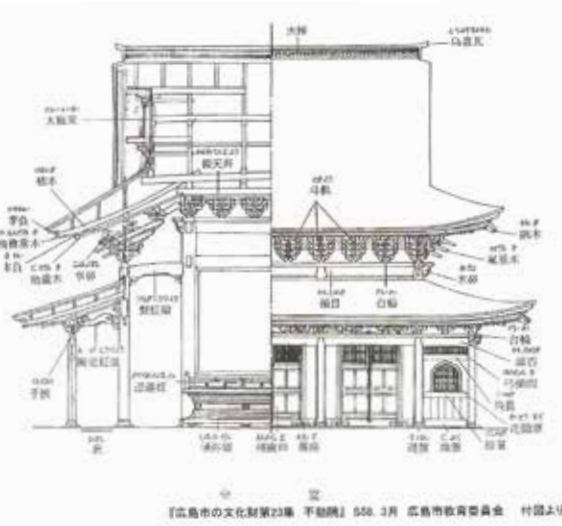
◇ 幕末から現在まで伝統工芸、つまり当時の技術、技法、原材料、道具までがそのまま残っているものは、日本でもこの一国斎の高盛絵だけなんです。そうそう、今でも何代前から使っていたのか分からない程昔の道具を今でも使っています。この爪盤はべつ甲で作られています。そしてこの道具箱も何代も前から使っているものです。

広島にいて何故この様に残ったのかといいますと、原爆の時は実は父（6代）は8才で袋町小学校に登校していたのですが、奇跡的に助かりました。4代、5代は疎開先の舟入町にいましたので助かり、辛うじて代々の作品も残ったのです。

野地板の上に上目板（所々に銅版を敷き、緑錆が抗菌に効く？）、平板を軒先から板の境目が重ならないように葺いていき全ては竹釘で一枚あたり20箇所止められ、職人一人で一日あたりの仕事量は一坪位だそうです。

30～40年に葺き替えられるこけら葺は、なかなか見ることの出来ない貴重な興味あるものでした。

エルイーオー設計室中川裕二



ひろしま

不動産院



父から子へそして孫へと、古きものから新しきものへ技術が伝承されて今があります。勿論、技術はそのままです。その時の表現が違う訳です。

外国では伝統工芸も普通の工芸も全て「クラフト」その一文字で括られてしまいます。日本でいう匠の技、伝統工芸は意匠なのです。意識を持っている。意識、心の中のを表現しているのです。作者の心を入れる事でそのものは年月を経ても輝き続けるのだと思います。単なるクラフトとは別次元のものなのです。

今取り組んでいますパネルの作品にはステンレスのシンプルな額縁をつけるのですが、額縁の存在というものは、その作品を引き立たせる存在だと思うのです。どんな額縁を選ぶかで随分と印象が変わってきます。建築も同様だと思うのです。

■ 今年の第56回日本伝統工芸中国支部展で、最高賞の金重陶陽（かねしげとつよう）賞を、金城一国斎さんの漆芸「蜻蛉 高盛絵切金色紙箱（とんぼたかもりえきりかねしきはこ）」が受賞されました。

今、大きな作品作りに入っておられます。この夏、東京大手町に竣工予定のニチヤス株式会社（旧日本アスベスト）の本社ビルのエントランスに飾られる1200角のパネルの作品です。近年では、このように大きな空間におけるモニュメントの依頼が多くなったとの事でした。一昨年は広島駅新幹線口にも大きなモニュメント作品が置かれています。

これからどんな挑戦をされますのか益々のご活躍が楽しみです。当協会でも講演会をして頂ける様お願いして帰りました。



日本工芸会 奨励賞受賞作品
きりかねばこ「たきのあき」
切金箱「滝の朝」



広島駅モニュメント
『輪廻』



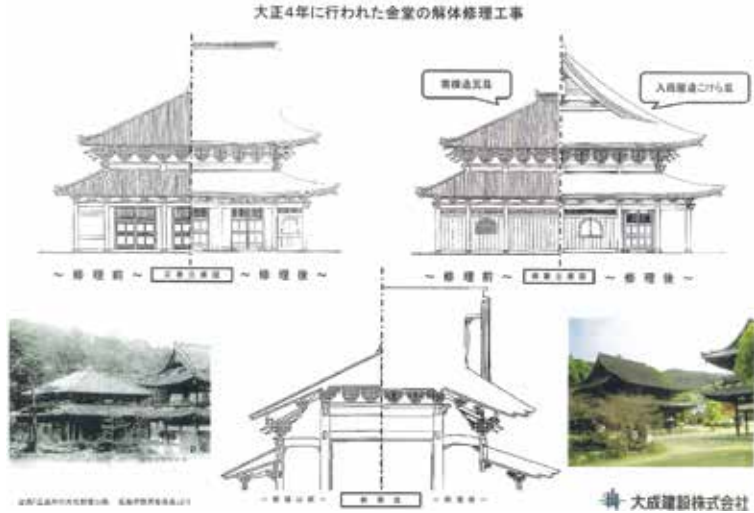
七代 金城一国斎氏



代々続いた道具箱



日本伝統工芸中国支部展 金重陶陽賞
「蜻蛉（とんぼ）高盛絵切金色紙箱」



大人のあそび場

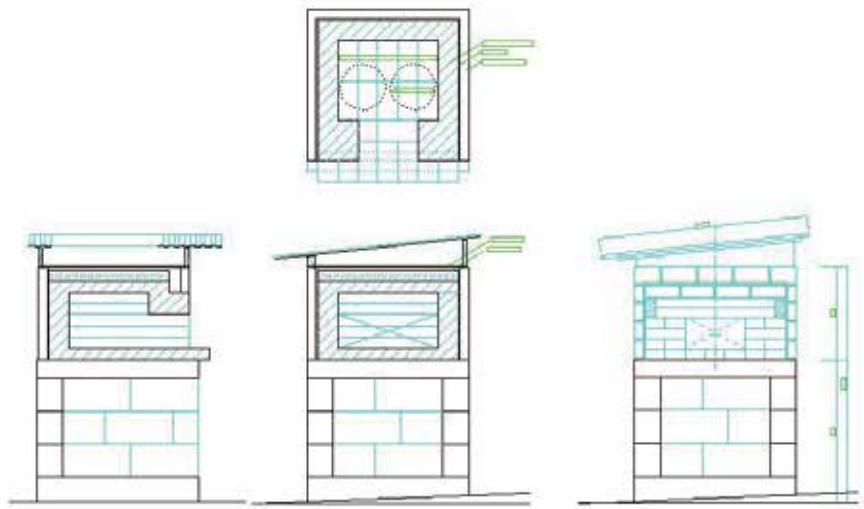
作：灰山彰好氏

スタジオの中に次々と生まれる作品たちをここにご紹介したいと思います。

時間をかけて構想され、研究し、図面化し、そして念入りな実験データーを基にできあがったものばかりです。

探究心豊かな先生だからこそ生まれた傑作品の数々。先日、やっと数年がかりで出来上がったピザ釜のお披露目に伺ってきました。

奥様との素晴らしいコラボレーションがあってからこそそのピザ釜。皆様のアンテナに届き、新たな遊び場ができますように ...。 （事務局）



当日、せっかく石釜レクチャーの為に用意して頂きました図面がインクがなくなり印刷できず、拝見させて頂けませんでした、この度の掲載の為に、送って頂きました。ありがとうございます。



「いや～奥さんがね、まるで消却場みたいだ！
って言うんだよ！」
『で、このドライヤーは何なんですか？』
「凄い発見だろ。風を送るのをどうしようかと、
使わないドライヤーがあつてね、
これは我ながらいいアイデアだと思ったよ」



『先生、凄い！今回の椅子、軽いですね～』
「いや～なかなかだろう！こうして開けると
ハンガーになるんだよ」
『まさに、チェアハンガーですね。いや～なかなか
完成度が高い』
『先生、糸鋸をお持ちなんですか？』
「そんなもん持ってないし、使ってないよ！」
『でも、この曲線って
ですか』
「え？そうか。あつたな」



「この水場はね、小さな太陽光
発電で動いてるんだ。雨水をため
たのを循環させてるんだよ」
『藻がついてないですね』
『いや、太陽が当たってるから
ついてるよ』
「この間、この水を飲みに狸が
入ってね」
『え？狸ですか？狸の悪い場？』

見学会のお知らせ

■ 北欧建築・家具と、飛騨高山の古民家を視察

2013 年 10 月 26 日～27 日（予定）

『フィン・ユールアート・ミュージアム』視察

「あぶらむの会」大郷 博 司 祭 講演会

（詳細は現在計画中）



■ 広島 不動院 改修工事 視察

（詳細は現在計画中）

編集後記

今回の 20 回目の会報誌。ちょっとデザインに飽たので、今回からカラーの観音開き印刷に挑戦してみた。いつもの業者価格の印刷所で見積もりを取ってもらったら予想よりも高い。結局インターネットで搜したらびっくりするほどの価格でできるとか ...。でも、ふと思った、この金額って、13 年前の価格の 1/3 それもカラーで ...。どの業界も大変だな～と改めて思う。新聞を始め、出版業界でも同様。なんと、すでに勝手に自分で書いた原稿をインターネット上で出版し、販売もできるとか ... スマートフォンの普及があつてできる技。便利な反面、それについていけなくなると取り残されるの？う～ん、そうになったら、逆にかまどで御飯を炊いて、田舎で自給自足目指すのも手かも .. とふと思う。その為には、まずは体力だ～！と PC の前で騒いではみたものの ...。

事務局

〈平成 23 年度 中国インテリアプランナー協会活動記録〉

2012.6.9 第 20 回総会・親睦会

2012.6.9 講演会： 金堀一郎 氏
「都市とインテリア」

2010.11.26～27 全国大会 in 宮島

2010.11.29～12.1 SALON DE IPE C2011
「これからのすまい」

〈平成 24 年度 総会のご報告〉

6 月 29 日（土）14:30-15:30

広島工業大学広島校舎 301 号室

今年度役員の承認

- 平成 24 年度活動報告及び会計報告
- 平成 25 年度活動計画及び予算案の承認
- 平成 25 年度総会を上記の要領で開催致しました。
- 会員の皆様に多数ご参加頂きありがとうございました。

〈事務局より〉

平成 24 年度会費未納入の方は、早急に納入下さいますようお願い致します。

住所変更、事務所移転等ありましたらお知らせください。

新会員募集

当協会では新規ご入会の会員を募集致しております。インテリアプランナー資格者の方をご紹介しますようお願い致します。

国民健康保険にご加入の方へ

CIPA 会員で加入条件を満たす方は、「文芸美術国民健康保険」に加入することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
<http://www.bunbi.com>

平成 24 年度インテリアプランナー試験対策用テキスト頒布

インテリアプランナー試験参考書のお申し込みは関西インテリアプランナー協会宛にお願い致します。詳細はホームページでも確認できます。fax:06-6266-5745

<http://www.jipa.net/kipa>



J I P A 2012 全国大会 in 北海道

さっぽろ雪まつり

北海道 冬の風物詩と言えば“さっぽろ雪まつり”

一度は間近に見てみたいと思っていましたが、とにかく寒さの苦手な私には敷居が高く、なかなか厳冬の北海道へ行く勇気がありませんでした。しかしながら、大通り公園に並ぶ大雪像の数々を目の当りにすると想像以上の大迫力で、寒さなんて忘れて見入っていました。式年遷宮に向けての伊勢に息づく神話をテーマにしたもの、台湾の中正記念堂を再現したもの、オープンに先駆け新歌舞伎座を形にしたものなどなど。細部迄、丁寧に作られていて、その精度には感心させられました。また、中島公園に立つ国指定重要文化財の豊平館を再現したものでは、大雪像へのプロジェクションマッピングがとても綺麗で、ただただ見惚れていました。中には、思わずニヤリとしてしまうような可愛い物も・・・喫煙コーナーもとても美しく、雪国ならではのですね。札幌雪まつりには、氷像展示のすすきの会場も大盛況で、ダイナミックな雪像とはまた違い、氷の透明感を生かした氷像が、ライトアップによってさらにきらめき、幻想的な世界を醸し出していました。撮影スポットとしてイルミネーションストリートも設置されて、すすきの夜はとてもきれいでした。“リボンちゃん！リボン・シトロンよ・・・リ・ボ・ン” 昔、そんなCMを見たような。もちろん、大人気 ちびまる子ちゃんも。喫煙コーナーもとても美しく、雪国ならではのですね。札幌雪まつりには、氷像展示のすすきの会場も大盛況で、ダイナミックな雪像とはまた違い、氷の透明感を生かした氷像が、ライトアップによってさらにきらめき、幻想的な世界を醸し出していました。撮影スポットとしてイルミネーションストリートも設置されて、すすきの夜はとてもきれいでした。

Y's P L A N 中村 洋子



初めての雪祭り。本当に本当に寒かった ...

「本当の北海道の良さを知って頂きたいと企画しました」
とのお言葉どおり、素晴らしい北海道を堪能させて頂きました。

HIPA の HP に大会の写真が掲載 <http://www.hipa.biz/> (暗証番号：hipa2012)

エリエール スクエア札幌

渡辺 淳一文学館

全国大会 in 札幌開催の翌日、渡辺淳一文学館を、見学することにした。目的の建物は緑多い公園そばの、落ち着いた雰囲気の開静な住宅地にあった。建物の正面に立って観ると「真っ白な雪の中で白鳥が片足を上げてたっているようなイメージ」で造られたそうだが、コンクリートのフレームワークを見ても私にはどうもその様には見えなかった。1 階は喫茶コーナーと図書スペースが併設されており、入館して左面は大きなガラス面になっており、外光が燦々と入る気持ちの良い吹き抜け空間で、落ち着いて読書ができるようになっている。天井いっぱいの書棚には、現在までの彼の著作本がギッシリと収められている。ハンゴをつかって天井近くの本を手にするには少々勇気がいる。ちなみに喫茶コーナーのホットコーヒーは 300 円。図書スペースには数人が読書中だった。2 階は展示室になっており、壁面は年表（渡辺淳一の経歴紹介）中央の展示ガラスケースは、周囲が回遊できる配置になっており作品が完成するまでの過程を、生原稿やゲラ刷り等が展示されている。天井が低く空間的には狭く感じるが、それだけに濃密な資料群が迫ってくる。狭い階段を下り地階へ、そこはホールになっており舞台上にはグランドピアノがセットしてある。小ホールではあるが音響効果もかなり配慮した様子で、扇子を開いた形の天井が印象的だった。外で記念撮影をして、公園横のまだ雪の残る鴨々川通りを徒歩で雪祭りの会場へ向かった。

U 建築設計事務所 上田 幸正

大会会場の北海道庁赤レンガ庁舎へ。正面に雪だるまが歓迎してくれる。建物（重要文化財）は明治二十一年（1888年）平井晴二郎ら道庁の技師が設計を担当。アメリカ風ネオバロック様式のレンガ造、屋上には八角塔。間口61m奥行き36m高さ31m、約250万個のレンガ・木材など道産品を使用しており、正面のみならず後ろ側の外観も素敵。現在では北海道開拓記念館として一般の人々も利用できる。正面玄関ホールからの3連アーチが美しく、西洋建築特有の中央階段をのぼると旧北海道庁長官室、北方領土館等があり2階会議室が大会の会場。野村光男会長の開会宣言で始まる。記念講演会は、北海道大学名誉教授の角幸博氏「北の歴史的建築物とインテリア」今日では解体された建物や重要文化財の旧花田家番屋、有形文化財の佐藤家、日本聖公会聖ミカエル協会、北海道庁旧本庁舎など貴重な写真鑑賞。多くの貴重な建物が壊され行くことに、残念な気持ちと、それを残そうと活動をされている角先生の取り組みに感銘を受ける。文化公演は「アイヌアートプロジェクト」幅広い表現でアイヌ文化とその精神をつたえるアーティスト集団による伝統歌謡舞踊。トンコリトムツクリの演奏は素晴らしいものでした。伝統曲の演奏で皆の手拍子で会場一体感の内に終焉、北海道インテリアプランナーの会員の方々のエスコートで、夜のライトアップされた雪像、500m美術館：を急いで見ながら、テレビ塔へ。交流会1部の会場 札幌ファクトリー・ピアクレー札幌へ。地下トンネルを思わせる内装、いい雰囲気でした。サッポロビールとドイツ風料理で乾杯。全国の方々と楽しく交流、アルコールもたっぷり吸収。雪祭りススキノ氷像のライトアップを鑑賞しながら交流会2部の会場へ。交流会2部の会場 ジャスマックプラザホテル。花遊膳。北海道の和の料理を堪能。皆さんとの交流を深め、北海道インテリアプランナー協会の皆様に感謝、感謝。次回の再会を約束して終了。見る、楽しむ、食べる：疲れ。ぎりぎり間に合ったの搭乗もあり、欲張りな3日間でした。雪を全く問題にせずに走る車、雪の中ハイヒールを履いて歩く女性、横断報道に置いてある滑り止めの砂・・・何か寒さを楽しんでいるようにも感じた北海道でした。

森建築工房 森隆
宇都宮建築設計事務所 宇都宮博明



CIPA

中国インテリアプランナー協会

Chugoku Interior Planner's Association

<http://cipa21.com>

2013 vol.18
通信

communication

〒731-5135
広島市佐伯区海老園 1-13-7
(有)エルイーオー設計室 内
tel : 082-923-2132
fax : 082-922-0018
e-mail : cipa@cipa21.com



伊勢神宮、内寓手水舎

名誉会長のつぶやき

『奥の細道』

広島での花見を楽しんだあと、京都から秋田までの花を追って北上するという、欲張りな計画を立ててみました。延べ 11 日間、約 3,500km の旅。17 年前に買ったホンダ CRV と 43 年来の女友達と iPhone にダウンロードしたナビとコンビニの ATM が強い味方となりました。平安神宮の左近の桜はすでに葉桜。三千院のシダレ桜は池の上の花筏。三春の滝桜は見事なほどの散り始め。会津若松、鶴ヶ城の桜は満開で宴会。毛越寺、中尊寺の桜はまだ早く、しかもここではモミジと比べ、桜は主役になれない存在かと思いました。柳田國男「遠野物語」の猿ヶ石川の桜並木はつぼみ。昼に食べたラーメンはチャーシューと梶水（かんすい）の味がする素朴なものでした。ドンブリの端に飾ってくれた 2 枚の味付け海苔。これをお洒落とを感じるべきか、サービスと受取るのか、そして食べる所作があったのだろうか？ 迷いながらも食べ終わり、冷水を飲み一服。お姉さんの話では、遠野でも震災の被害は大きく、特に揺れる時間が恐ろしく長いものだったそうです。写真家、森山大道の撮った駅前ネオン街も壊され、今は侘しい空き家街となっていました。念願の角館（かくのだて）。天然記念物となっている 162 本のエドヒガン桜はすべて硬いつぼみでした。見納めは幸か不幸か先送りとなりました。

（日高卓三）

発行：中国インテリアプランナー協会

〒731-5135 広島市佐伯区海老園 1-13-7

tel : 082-923-2132 fax : 082-922-0018

<http://cipa21.com> mail : cipa@cipa21.com

発行日：平成 24 年 6 月